

これからの「日本舞踊」で為すべきことは——
「言葉・音楽・踊り」の再構築 新たな舞踊空間を拓くために

女が語る、死んだ夫との恋の行方
その追憶に、歪んだ幻影が浮かび上がる

新作 日本舞踊

人でなしの恋

原作／江戸川乱歩

演出・振付・出演／坂東野里行

作曲／坂口あまね

出演／中島いづみ

2026年8月16日(日)

15時開演(14時30分開場)

入場料:2,000円(全席自由席)

会場:川崎市アートセンター アルテリオ小劇場

〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺6-7-1 電話:044-955-0107



川崎市アートセンター
kawasaki ART center

構想・台本:讓原 晶子 顧問:小菅隼人(慶應大学教授、日本演劇学会会長)

新作 日本舞踊

人でなしの恋

2026年8月16日(日) 15時開演 (14時30分開場)

女が、十年前に死んだ夫のことを語る。美しい夫との生活は夢のようだったが、婚礼から半年後、

女は蔵の中で睦言を交わす夫と愛人の声を聞いてしまう。

打ちのめされた女は、魅入られたように毎晩逢瀬を立ち聞きするようになり…

日本舞踊、演劇、音楽界の新鋭若手の異色のコラボレーション

大正の終わりに書かれた江戸川乱歩の不気味な世界で「素踊り」「一人芝居」「現代音楽」が交錯する



演出・振付・出演：坂東野里行 BANDOU Noriyuki

坂東流師範名取。幼少より母である坂東登喜代に日本舞踊を師事し、十代目坂東三津五郎丈に野里行の名をゆるされる。日本大学芸術学部日本舞踊専攻を卒業後、一橋大学大学院言語社会研究科を修了。現在は、日本舞踊の「古典」の研究を積むと同時に、「日本舞踊」の生みの親である坪内逍遙の考えに立脚しながら、日本舞踊の「新作」を創造すべく活動する。



出演：中島ここ NAKASHIMA Koko

演出家・俳優。平成13年に生まれ、父の中島諒人が芸術監督を務める「鳥の劇場」で演劇と共に育つ。人が舞台に立って演じることで生まれる「人間を肯定する力」が、より多くの人の糧になることを願い、地元鳥取市を拠点に作品創作や演劇を通じた小中高生との交流に取り組んでいる。演出・出演作品に別役実作「いかけしごむ」、太宰治「葉桜と魔笛」など。



作曲：坂口あまね (杵屋小三郎) SAKAGUCHI Amane (KINEYA Kosaburo)

長唄三味線奏者・作曲家。平成10年に長唄「杵勝会」家元・杵屋勝三郎の長女として東京に生まれ、祖父や父の三味線演奏の絶えない環境で長唄を学んだ。東京藝術大学邦楽科を首席卒業後、米・カーティス音楽院作曲科修士課程に進学。オーケストラ作品「Faded Dreams」(題材は長唄「安達ヶ原」)、室内楽作品「Three Facets of Matcha」(抹茶)などを発表。「杵屋小三郎」の名で長唄演奏会・日本舞踊公演等にて演奏活動を行うとともに、世界共通の音楽言語であるクラシック音楽に日本の伝統音楽の要素を昇華させた作品を目指し作曲活動を行っている。

チケット：しんゆりチケットセンター(川崎市アートセンター内)
入場料2,000円(全席自由席)

・ 窓口

9:00~19:30(毎月の施設点検日を除く)

〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺6-7-1

・ 電話予約

044-959-2255 9:00~19:30(毎月の施設点検日を除く)

・ Web予約

ご利用には「しんゆりチケットWeb会員」への登録(無料)が必要です。

<https://kawasaki-ac.jp/ticket/>

※電話/Web予約は公演の2日前まで。※チケットのお引取りは窓口かセブン-イレブンのどちらかとなります。

主催/Work-in-Progress 研究グループ お問い合わせ:theatre-friends@ymail.ne.jp
協力・助成/科研・基盤C 24K03451 千葉商科大学 特定非営利活動法人鳥の劇場



アクセス：小田急線 新百合ヶ丘駅北口、徒歩3分

